

平成29年度第11回定例  
松本市教育委員会会議録

松本市教育委員会

平成29年度第11回定例松本市教育委員会会議録

平成29年度第11回定例松本市教育委員会が平成30年2月22日午後3時00分教育委員室に招集された。

---

平成30年2月22日（木）

---

議 事 日 程

平成30年2月22日午後3時00分開議

第1 開 会

第2 教育長挨拶

第3 議 事

[議案]

第1号 平成30年度松本市学校給食センター事業の取組方針  
及び平成30年度松本市学校給食費会計歳入歳出予算について

[報告]

第1号 学校事故の状況について

第2号 「いじめの実態調査」の結果について

第3号 不登校児童生徒等の状況について

第4号 松本市小学生作文コンクール審査結果について

[周知事項]

- 1 第8回金沢市・松本市児童生徒絵画交流展の開催について
- 2 平成30年度松本市美術館の臨時開館日等について
- 3 旧松本区裁判所庁舎 重要文化財指定記念式典の開催について
- 4 松本市市制施行110周年記念 松本市立博物館本館と分館の企画展開催について

[その他]

〔出席委員〕

教 育 長	赤 羽 郁 夫
教育長職務代理者	市 川 莊 一
教 育 委 員	花 村 潔
〃	福 島 智 子
〃	山 田 幸 江

〔出席職員〕

教 育 部 長	矢 久 保 学
教 育 政 策 課 長	小 林 伸 一
学 校 教 育 課 長	麻 田 仁 郎
学 校 指 導 課 長	横 田 則 雄
学 校 給 食 課 長	山 田 賢 司
生涯学習課長 兼	
中央公民館長	高 橋 伸 光
中 央 図 書 館 長	瀧 澤 裕 子
文 化 財 課	大 竹 永 明
松 本 城 管 理 事 務 所 長	中 嶋 岳 大
美 術 館 副 館 長	清 澤 秀 幸
博 物 館 長	木 下 守
博物館事業担当課長	関 沢 聡

〔事務局〕

教育政策課 教育政策担当係長	甕 国 人
教育政策課 教育政策担当係長	堀 敬 子

《開会宣言》 午後3時00分

赤羽教育長は平成29年度第11回定例松本市教育委員会の開会を宣言した。

教育長 インフルエンザも大分落ち着き、学級閉鎖、出席停止人数も一時期より3分の1以下となってきました。3月7日には高校入試の後期選抜がありますので、ぜひ体調管理をしっかりしてもらいたいと思います。

さて、年度末も近づき、小中学校の登校日数も15日程度となってまいりました。教育委員の皆さん、そして教育部の課長さん方には卒業式の参列をお願いしておりますが、どうぞよろしく願いいたします。

私は、「学校の1年間の教育の成果は卒業式の子どもたちの姿に現れる」と思っています。例えば小学生でしたら6年生の卒業生の姿、中学校では3年生の卒業式の姿になって現れると思っています。是非、そんな面から子どもたちの姿を見て来ていただけたらありがたいと思っています。

先日、ある学校の職員研修を40年以上にわたり続けてきた先生の「一区切りの会」という会がありました。その先生は、80代後半ですが、若いころからある学校の職員研修を継続して引き受けてくださり、特に西洋哲学、プラトンあたりを中心にしてお話をされてきました。私もその学校にいるときにお世話になり、プラトンの国家等、職員で読み合わせをしたのですが、何を讀んでいるのかよく分かりませんでした。今、思えば顔から火が出る程恥ずかしい限りです。

その先生がある研修で「手を振る機関車」という話を紹介されたことがありました。この話の内容は、大草原の真ん中に貧しい農家があり、その農家の庭先で鉄道が通るといつでも手を振ってくる女の子がいました。鉄道の運転手たちはいつしかその女の子が手を振るのが楽しみになり、そこを通るときは必ず気にかけるようになりました。ところがあるときを境に女の子の姿が見えなくなり運転手たちが「あの子は、どうなったか」とみんな心配するようになりました。女の子の姿が見えなくなった原因が難病だということが分かり、みんな金を出し合ってその女の子を救うというお話です。

出典は1949年の7月3日、週刊朝日にこれが掲載されており、当時の週刊誌の格調の高さが伺えます。「心に感動を」という本にこれが掲載されているという話を先生が資料とともにして下さいました。

まさに私たちも、子どもたちに手を振る人であり続けたいということ、この間痛感しました。

それでは、山田課長 3 分間スピーチをお願いします。

学校給食課長 「勝負事について」 3 分間スピーチ

教育長 ありがとうございます。

次は、横田学校指導課長ですので、よろしくお願いします。

#### 《署名委員の指名》

本日の会議録署名委員は、花村委員、福島委員です。

#### 《会議録の承認》

教育長 平成 29 年度の第 3 回と第 4 回の会議録の承認についてはよろしいでしょうか。

教育委員 結構です。

#### 《議案審議》

教育長 本日の案件は議案が 1 件、報告事項が 4 件、周知事項が 4 件です。

<議案第 1 号> 平成 30 年度松本市学校給食センター事業の取組方針及び平成 30 年度松本市学校給食費会計歳入歳出予算について

学校給食課長 議案第 1 号「平成 30 年度松本市学校給食センター事業の取組方針及び平成 30 年度松本市学校給食費会計歳入歳出予算について」趣旨、平成 30 年度松本市学校給食センター事業の取組方針について、平成 30 年度松本市学校給食費会計歳入歳出予算について説明

教育長 ご意見、ご質問等ありますか。

花村委員 平成 30 年度松本市学校給食センター事業の取組方針の 2 「平成 30 年度の主な取組み事業」(4)アレルギー対応食提供事業についてお聞きします。アレルギー対応食の提供数は増加しているのでしょうか。

学校給食課長 平成 27 年度からアレルギー対応食の解除に向けての取組みを進め、現在、減少傾向ですが、それでも 172 人います。現在、来入児の給食懇談会を実施しておりますが、アレルギー対応食の提供者は 22 人と聞いておりますので

200人弱になる予定です。従って2年ほど減少傾向でしたが、来年度は増加する予定です。

花村委員 食物アレルギーの罹患率ですが、子どもは増加しています。絶対数が減少しているのに増加しているということは普通ではないと思っています。

入学前、私のところに「アレルギーがあるのですが調べてくれませんか。」という保護者がいます。血液等いろいろ検査をし、調査票を記入するのですが、アレルギー対応食提供者は調査票を必ず提出することになっているのでしょうか、それとも口答での調査回答でもよいのでしょうか。

学校給食課長 アレルギー対応食を提供するには主治医の診断書が必要です。また、保護者とも面談をし、「いつごろからどういう食べ物で出たか」等、細かくお聞きしたうえで提供しております。

しかし、現在はニンジン等の普通の野菜でもアレルギーが出てしまう子どもがいる状況です。

花村委員 そうですね。普通ではあり得ないような状況が出て来ています。

学校給食課長 アレルギー専門の篠島先生によると、給食を提供する児童生徒の3%ぐらいは食物アレルギーで、そのうち対応できるのが1%ぐらいだそうです。ですので、2万人いるうちの1%ということで、数字としては合っているのかと思っています。

花村委員 減らそう減らそうと思っても、増えているという状況なのですね。

学校給食課長 なるべく症状の軽い人に対しては保護者の理解を得て解除してもらおうよう努めていますが、それでも増えてしまっているという状況です。

花村委員 ありがとうございます。

教育長 (2) 公会計化へ向けた取組みですが、今月、県庁で業務改善に関する会議があり、その中で、給食費の公会計課について、既に公会計化になっている塩尻市が来年度システムの更新、大町市は平成31年度からの公会計化を検討していることから塩尻市と大町市で「一緒にやっていきましょう」という話をお聞きしました。そこに、松本市も入れれば中信地区で同じシステムを購入でき、費用面でも優遇されるのではないかというお話をされていました。

学校給食課長 実は、「一緒にやりませんか」と声をかけられております。

花村委員 そうすると、計画が前倒しになる可能性はあるのでしょうか。

山田課長 先日、公会計課庁内検討会議を開催しましたが、平成32年度から公会計にするためには平成30年度の9月補正の予算要求が必須であり、スケジュールが非常にタイトであることが分かりましたので、前倒しということはありません。

教育長 他にご意見等ありますか。  
無ければ、議案第1号は承認することとします。

<報告第1号> 学校事故の状況について

学校指導課長 報告第1号「学校事故の状況について」趣旨、月別・種類別報告件数、主な内容、今後の対応を説明

教育長 ご質問、ご意見等ありますか。  
昨年の今ごろは学校の組体操のことが非常に問題になっており、議会でも質問が出され答弁したことを覚えております。今年度の運動会中のケガの報告の中に組体操に関する報告はなかったですか。

学校指導課長 ありませんでした。  
今年度は、昨年議会の質問を受け、組体操の事前講習会を春1回と秋2回実施したことが事故の軽減につながったと思います。

教育長 分かりました。対策の成果が出ているということですね。

市川委員 今年、学校訪問を何校かさせていただきました。その中で、ある学校の校長先生から「車で送り迎えをしてくる親が交通ルールを守ってくれない。学校内にもルールがあるのですが、保護者が子どもたちの歩いている所まで平気で入って来てしまい危ない。保護者向けのお便りを出しているが守ってくれない。」という話をお聞きしました。私は、『大きい「進入禁止」看板を出したらどうですか』と言ったのですが、『「進入禁止」という言葉が親に対してとてもきつい言葉になるため、「ご協力お願いします」という言葉に替えた方がいいのではないのでしょうか』と言われました。このお話を聞いた時、先生方が保護者に対して非常に気を使っていて何か違和感を持ちました。私からしてみれば、子ども1人でもケガをさせたら大変なことですから、もっと強く言ったらどうですかとかも思ったのですが、PTA事業に参加する方は理解していただけるのですが、参加しない保護者の理解が得られないということ

も言っておりました。

私は、もっと強く言ってもいいと思うのですが、現場にいる先生方には出来ないことなのでしょうか。

学校指導課長 子どもの安全に関わることについては、引かずにやって欲しいというお話をしています。私も校長先生から同じような悩みを聞いたことがあります。実際、先生方が下校指導の際に現場できちんとお話をすれば、多くの保護者は理解してくれます。本来は、「入らないでください」という看板を見たら、そこで止まってくれればいいのですが、それでもご理解をいただけないのであれば、先生方による下校指導が1週間ありますので、現場で、「すいません。ここは車両立入禁止です。」という形で声をかける方法がお互いに摩擦なく出来るのではないかと思います。

市川委員 このような話を、父兄からも校長先生からも聞いたものですからお話しました。

教育長 年度当初の4月には、PTA総会等保護者の集まる会議がありますので、その都度ルールをきちんと説明し呼びかけをしていくことが大事だと思います。

他にご意見がないようですので、報告第1号については報告を受けたこととします。

<報告第2号> 「いじめの実態調査」の結果について

学校指導課長 報告第2号「「いじめの実態調査」の結果について」趣旨、調査方法、平成29年8・9月調査結果及び今後の対応等を説明

教育長 一時期、ラインやスマホのことが騒がれました。今、それほど話題になっていないということは、ライン等が解決されたのではなく、みんながそういう中に入ってしまい話題にならなくなったということでしょうか。

学校指導課長 言葉は適切ではありませんが、子どもたちが用心深くなったのかもしれませんが。話題にならなくなったというよりは、「これは駄目だよね」ということが浸透し、安易に人の悪口を書き込んだり、写真を無断でアップするというようなことが少なくなったのではないかと思います。いわゆるメディアリテラシーの人間側の取組みが前向きになってきたのではないかと考えています。

教育長 取組みの成果が少しずつ出て来ているということでしょうか。家庭も含め、

市P連も毎年そういった分科会を行なっていますので、世の中全体の取組みが少しずつ浸透し始めているという見方もあるということですかね。

他にご意見等ありますか。

体罰で報告のあった「寒い体育館で床に体育座り」ですが、この件についてはいかがでしょうか。

学校指導課長 生徒の言い分を聞き、きちんと対応したと聞いております。

アンケートに記入したことで、きちんと先生が対応してくださるというのが素晴らしいことだと思いました。

花村委員 文科省への「いじめ実態調査」の報告は、1年に1回、県教育委員会は前期、後期の2回、松本市は2カ月に1回となっています。今、先生方の多忙化が非常に問題となっておりますが、前期、後期で分けたときと、2カ月に1回統計をとられている、大きなメリット、デメリットというのは何かあるのでしょうか。

学校指導課長 私が中学校でまとめていた経験をお話しますと、2カ月に1回は確かに面倒ではありますが。しかし、半期分の処理をするとなると大変でコツコツやらないと溜まってしまいます。子どもたちも2カ月毎に調査をしないと何があったか忘れてしまいます。より細かい対応をとということになると期間をある程度短くして何回か調査することがいいと思います。半期の報告は2カ月毎のデータを集めてしまえばいいものですから、二度手間ということはありません。基になっているのは、2カ月に1度の集計ですので、半期ごとにまとめる、それから、1年分まとめるということです。

松本市の場合は、何月にいじめがあつて、学年、性別、訴えの内容等細かく全部調べるようになっていきます。そして、いじめの態様が1番から9番までのどこに当たるかということ毎月書き込むようになっているため、かなり詳細な調査となっています。半期毎にまとめる際には、その詳細な部分は省いて数と分類だけ上げていきますので、指導に生かすとなると詳細にやった方がいいと思います。

花村委員 現場の状況がよく分からなかったものですから、よく理解できました。

教育長 学校では、国や県からいろいろな調査が多数来ます。そして、市独自で調査しているものがあります。

今、花村委員がおっしゃったように「この調査は本当に必要なのか」、「効率化や業務の改善につなげることはできないか」というような検証はきちんとしていく必要があると思っています。特に、教頭先生の業務の中には報告事務がかなりありますので、この辺はきちんと精査していく必要があるのではないのでしょうか。

それでは、他に意見等ありませんので、報告第2号は報告を受けたこととします。

<報告第3号> 不登校児童生徒等の状況について

学校指導課長 報告第3号「不登校児童生徒等の状況について」趣旨、不登校児童生徒の状況、学校指導課不登校支援アドバイザーの学校訪問支援の状況、中間教室の状況、今後の対応を説明

教育長 ご質問、ご意見等ありますか。

福島委員 「中間教室の状況」がありますが、10年間の推移があり全体と復帰の数がありますが、各年度の全体の不登校の生徒の何割がこの中間教室に通っていて、何割が復帰しているのかということが見て分かる表、グラフにさせていただくと非常にありがたいです。次の研究会の際にでもお願いします。

学校指導課長 分かりました。

教育長 ここ最近の傾向としては、中学生が中間教室に多く、中でも3年生が圧倒的に多い状況です。これは、進路を実現したいという願いがあると思います。ですので、1、2年は不登校でしたが3年になったら中間教室へ行き、学力をつけ進路をぜひ実現したいという意欲で前期選抜を受ける子が多いです。私も中間教室の生徒何人かと面接の練習をやりました。意外に高校に行ってしまうと高校生活を楽しみ、自分の進路に向かって新たなスタートが切れるという子が多いです。中には県外へ行って頑張っている子どもおり、長期休みに中間教室を訪ね後輩にアドバイスをするような子もいます。やはり、そういう一人ひとりの育ちや、頑張っって自分の未来を切り拓こうとしている姿を、みんなに分かっていただきたいと思います。

文科省では「不登校は問題行動ではない」と言っておりますが、不登校を通して「本当にいい経験だった」、「その子の人生にとって価値あるものだった」

た」ということを学校も保護者も含めて共有できたらと思っています。

それでは、報告第3号については報告を受けたことといたします。

<報告第4号> 松本市小学生作文コンクール審査結果について

学校指導課長 報告第4号「松本市小学生作文コンクール審査結果について」趣旨、経過及び今後の日程、主催等、応募数及び審査結果について、表彰式、今後の日程を説明

教育長 ご意見、ご質問等ありますか。

無いようですので、報告を受けたこととします。

<周知事項1> 第8回金沢市・松本市児童生徒絵画交流展の開催について

<周知事項2> 平成30年度松本市美術館の臨時開館日等について

<周知事項3> 旧松本区裁判所庁舎重要文化財指定記念式典の開催について

<周知事項4> 松本市市制施行110周年記念松本市立博物館分館の企画展開催について

教育長 予定されていた案件は終了いたしました。その他案件に関連して何かございますか。

それでは、事務局から何かありましたらお願いします。

事務局 2月、3月の教育委員会の日程でございます。

3月3日からいよいよ草間彌生展が開催されます。8日は旭町中学校桐分校の卒業式、14日の午前中は中学校の卒業式、15日の午前中は小学校の卒業式となります。15日は15時から教育委員会の研究会、22日は15時から定例の教育委員会ですのでよろしく願いいたします。

《閉会宣言》

赤羽教育長は、平成29年度第11回松本市教育委員会を閉じる旨宣言した。

<午後4時25分閉会>

会議録調製職員

教育政策課教育政策担当係長

堀 敬子

会 議 録 署 名 委 員

花村 潔

---

福島 智子

---